

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 19 年 11 月 8 日 (2007.11.8)

【公開番号】特開 2006-87758 (P2006-87758A)

【公開日】平成 18 年 4 月 6 日 (2006.4.6)

【年通号数】公開・登録公報 2006-014

【出願番号】特願 2004-278677 (P2004-278677)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 9 月 26 日 (2007.9.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数の識別情報を連ねた識別情報列を表示する識別情報表示領域を備えるとともに、この識別情報表示領域は、所定の順序で回転する複数の識別情報列が停止した状態において複数の識別情報列の一部で大当たり状態が出現可能な複数の大当たり形成領域で構成されてなる識別情報表示装置を備えた遊技機において、

少なくとも 2 つの大当たり形成領域で一部が重複し、かつ、重複している大当たり形成領域の識別情報列のうち最後から 2 番目に停止するリーチ決定識別情報列が停止した場合に、各大当たり形成領域でリーチとなる可能性がある第 1 のリーチ発生条件を検出する検出手段と、

上記検出手段の検出結果に応じて、識別情報表示装置に、上記リーチ決定識別情報列がそれ以前に停止する識別情報列に比してゆっくり回転した後に停止する停止表示パターンの表示を行わせる識別情報列表示制御手段と、
を備えたことを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

上記検出手段は、第 1 のリーチ発生条件に加えて、識別情報列をゆっくり回転させた後に停止させることによりリーチとなる可能性がある大当たり形成領域以外の他の大当たり形成領域でリーチ状態となる第 2 のリーチ発生条件を検出し、第 1 のリーチ発生条件及び第 2 のリーチ発生条件の成立時に、上記識別情報列表示制御手段に検出信号を出力することを特徴とする請求項 1 記載の遊技機。

【請求項 3】

上記検出手段は、第 1 のリーチ発生条件に加えて、1 回の変動で最大 3 以上のリーチを形成しうる場合に 3 以上のリーチとなる可能性がある第 3 のリーチ発生条件を検出し、第 1 のリーチ発生条件及び第 3 のリーチ発生条件の成立時に、上記識別情報列表示制御手段に検出信号を出力することを特徴とする請求項 1 記載の遊技機。